

(専門試験 林業 No.1)

日本の木材需給の動向に関する記述A～Cの正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。

- A. 日本における国産材の供給量は、昭和 42（1967）年の 5,274 万 m³をピークに減少し続け、平成 16（2004）年は 1,600 万 m³となり、その後は横ばいで推移している。
- B. 日本の外材輸入量は、平成 8（1996）年以降は平成 22（2010）年まで増加傾向で推移している。
- C. 輸入相手国の丸太輸出規制や製品輸出拡大政策などを背景に、丸太の輸入量は年々減少する一方で、製品の輸入量が増加傾向で推移している。

	A	B	C
1. 正	正	誤	誤
2. 正	誤	正	正
3. 正	誤	誤	誤
4. 誤	正	正	正
5. 誤	誤	正	正

正答番号 5

(専門試験 林業 No. 2)

日本における動物による森林被害に関する記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. イノシシ、シカ、カモシカ、クマによる森林被害のうち、近年、被害面積が最も多いのはイノシシによるものである。
- B. シカによる被害としては、枝葉や樹皮の食害のほか、雄の「角こすり」による樹皮はぎなどが挙げられる。
- C. カモシカによる被害は年間を通じて発生し、植林直後の幼齢木の採食は深刻な被害をもたらしている。
- D. ツキノワグマによる被害は、かつては東北地方に多かったが、近年では東海地方でも発生するようになっている。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. B, D

正答番号 4